

2. 事業成果報告

2-1. データ利活用・EBPM

2-1-1 事業実施結果総括

良かった点

- ・ 調査設計、データ収集、データ加工など、政策立案に必要な実務プロセスの重要性を認識できた。
- ・ Excelによるデータの前処理からTableauでの可視化まで、データ整備から分析、可視化といった一連の流れを体験し、実際の業務に役立つと感じた参加者が多かった。
- ・ EBPMの背景・重要性・進め方・ロジックモデルなど、理論と実務の双方を理解できたとの声が多く、好評を得た。
- ・ Z型・N型のレイアウト原則や伝わる構成の考え方など、視覚化に関する実践知識学習を通じ、資料作成や業務改善にも応用できると好評を得た。
- ・ ダッシュボード活用シーンの議論・共同作成を通じ、他部署・他自治体の視点を得ることができ、多面的な政策課題への気づきを提供できた。

課題

- ・ 「内容は充実しているが、演習時間がさらに欲しい」という意見が挙げられた。
- ・ 「どの業務で使えるか」「どのデータを使うべきか」といった、具体的な活用方法を参加者がより理解できる工夫があると理解度の向上につながる。
- ・ BIツール操作は“継続学習が必要”と感じる参加者が多い中、PC環境の制約などによりTableauが使えない自治体も存在し、学んだ内容を実務で活かす環境の整備が必要である。
- ・ 研修内容を継続的に実務で活用するために、研修後の定着を促進する仕組みづくりが必要である。

今後の活動に関する示唆

- ・ 初級・中級・上級などのレベル別にワーク内容及び参加者区分を再構成し、受講者がより理解を深めやすいプログラム運営が望まれる。
- ・ 参加者の業務や課題を事前ヒアリングし、実務に即した内容を取り入れ、充実した演習時間にて学習機会を提供することが効果的である。
- ・ PC環境の制約によりTableauを使用できない自治体に対し、利用可能なBIツールの検討を進めるとともに、Excelなどを活用した代替手法を含め、各自治体の環境に応じた選択肢の考慮が必要である。

2-1. データ利活用・EBPM

① EBPM・データ活用に関する基礎講義の概要

開催日	6月6日(金)	参加者	17自治体(全35人)
実施目的	政策立案や政策評価を行う際に、EBPMやロジックモデルを活用できるようになることを目的とする。また、データ活用の一連の流れや注意点を理解し、自身の業務におけるデータ活用の具体的な指針を検討し、実践できるようになることを目的とする。		

実施内容

- ① EBPMとその必要性
- ② 検討プロセス(ロジックモデル)
- ③ EBPM事例紹介
- ④ RESASの紹介
- ⑤ データ整備の重要性と加工の理解
- ⑥ データ分析の流れと活用事例



RESASに触れ可視化を体験している様子 Excel新機能を操作して確認している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ EBPMが求められる背景や活用事例、EBPMを推進するための基礎知識(進め方、ロジックモデル、可視化)を習得する。
- ・ EBPMを進める上で基本となるデータ整備の必要性を、実際にExcelを操作しながら理解する。

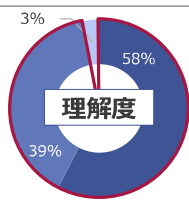
好事例・気づき

- ・ 今までの業務を振り返ってみて、多くの業務で「評価・修正」を実施せず、それを特に問題ないと感じてしまっていた。異動を理由とした面もあったと思うが、後任への残し方も含めて参考になった。
- ・ 分析ツールやExcel知識を身につける必要性を痛感した。自分で調査をしなくてはならなくなったが、KEYを絞り、何に向かうか考えて取り掛かれば、データ取りまとめ自体はできるかもしれないと思えた。
- ・ 理論と実践的な手法の両方が学べて、とても役に立つ講義だった。

研修参加者へのアンケート結果(回答33人)

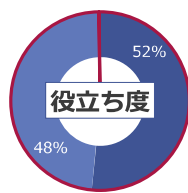
<サマリ>「理解度」「役立ち度」「満足度」は非常に高かった。「習得度」についても88%が実践できると回答しており、それ以外の方も「具体的な手法は、関わる業務に合うものを勉強する必要がある」といった前向きな回答であった。

97%が「とても理解できた」「理解できた」と回答



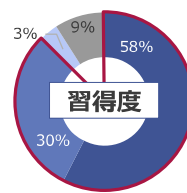
- とても理解できた
- 理解できた
- どちらでもない

全ての回答者が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



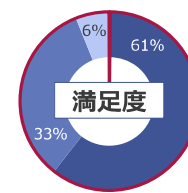
- とても役に立つ
- 役に立つ

88%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- どちらでもない
- もっと勉強が必要

全ての回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足



行政改革の施策を検討するうえで、EBPMの考え方は非常に有益であると感じた。



Excelの便利機能は知らないことばかりで感動した。ぜひ、業務で活用したい。

2-1. データ活用・EBPM

② BIツール活用・政策立案研修（第1回）の概要

開催日	7月4日（金）	参加者	9自治体（全14人）
実施目的	データ分析ワークショップと交流プログラムを通じて、EBPM推進に必要な実践スキルと、BIツールの政策立案への活用方法を習得することを目的とする。		

実施内容

- ① ExcelとTableauの違いの説明
- ② 自治体でのTableau利活用事例
- ③ データの接続
- ④ 基本的なグラフ表現
- ⑤ データの整理・分析機能
- ⑥ ワークブックの保存



自治体での利活用事例を聞いている様子 Tableauを操作しグラフを作成している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ BIツールの特徴や利用の意義、自治体での活用事例を理解する。
- ・ BIツールの一つであるTableauの基本的な操作を体験し、データを短時間で可視化し新たな課題発見につなげ、政策立案に活用するためのスキルを習得する。

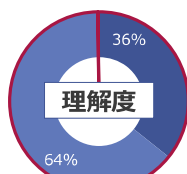
好事例・気づき

- ・ これまでExcel同士を突合せさせる際に計算式を作成していたが、BIツールを活用することでその手間を省けることが分かった。
- ・ 見慣れない画面で少し難しいと感じる内容が多かったが、自治体でのデータ集計や可視化といった観点でとても役立つと感じた。
- ・ 自部署には多くのデータが蓄積されており、今回の研修内容はとても役立つと感じた。
- ・ Tableauの基本機能と使い方を学ぶことができた。
- ・ 自自治体にはTableauが導入されていないが、考え方として役に立つと感じた。

研修参加者へのアンケート結果（回答 14人）

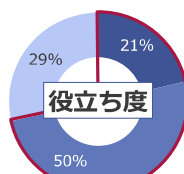
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「満足度」は概ね高いと回答。一方、「習得度」については研修だけの操作では使いこなせていない、復習を通して知識を習得したいという点から、21%が「もっと勉強が必要」と回答。

全ての回答者が「とても理解できた」「理解できた」と回答



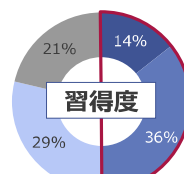
■ とても理解できた
■ 理解できた

71%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



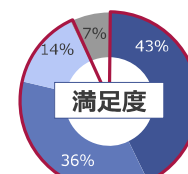
■ とても役に立つ
■ 役に立つ
■ どちらでもない

50%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



■ 実践できる
■ サポートがあれば実践できる
■ どちらでもない
■ もっと勉強が必要

93%の回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



■ 大いに満足
■ 満足
■ 概ね満足
■ あまり満足していない



ハンズオンとテキストの部分が逐一明確に示されたため、操作に遅れることがなかった。



初めてのTableau操作だったが、丁寧に教えていただいた。

2-1. データ活用・EBPM

2-1-2 成果

実施結果サマリ

事業	対象	開催内容	開催日	受講者数	理解度	役立ち度	習得度	満足度
① EBPM・データ活用に関する基礎講義	全職員 (特にEBPMを業務で活用したい職員)	講義	6月6日(金)	35人	97%	100%	88%	100%
② BIツール活用・政策立案研修	全職員 (特にBIツールを業務で活用したい方)	研修(第1回)	7月4日(金)	14人	100%	71%	50%	93%
		研修(第2回)	7月28日(月)	13人	77%	61%	47%	92%
		研修(第3回)	9月5日(金)	7人	86%	100%	86%	100%
		研修(第4回)	9月12日(金)	7人	72%	71%	43%	86%
		研修(第5回)	10月8日(水)	6人	100%	83%	50%	100%
		研修(第6回)	10月23日(木)	5人	100%	100%	80%	100%
③ 社会調査法基礎講義	全職員 (特に計画・市政世論調査などのアンケート作成・活用に関わる方)	講義	6月26日(木)	20人	100%	100%	95%	100%
④ データ整備・加工業務効率化講義	全職員 (特にオープンデータを加工し実践で活用したい方)	講義	9月17日(水)	13人	100%	100%	77%	100%
⑤ モデル自治体の実際のデータを活用したEBPMワークショップ	全職員 (特にオープンデータを使ってEBPMを実践したい方)	ワークショップ	10月30日(木)	5人	80%	100%	60%	80%
⑥ eラーニング	全職員	オンラインコンテンツ	5月1日(木)～10月31日(金)	136人	88%	85%	-	92%

各回の実施結果

- 次ページから記載

2-1. データ活用・EBPM

② BIツール活用・政策立案研修（第2回）の概要

開催日	7月28日（月）	参加者	8自治体（全13人）
実施目的	データ分析ワークショップと交流プログラムを通じて、EBPM推進に必要な実践スキルと、BIツールの政策立案への活用方法を習得することを目的とする。		

実施内容

- ① 前回学習内容の振り返り
- ② 計算機能
- ③ ダッシュボードの作成と保存
- ④ 計算機能・グラフ表現応用
- ⑤ よりよいダッシュボードの作成
- ⑥ Tableau Prep Builderの紹介



Tableauの応用操作説明を聞いている様子



操作をして機能を確認している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ 前回に引き続きBIツールの一つであるTableauの基本的な操作を体験し、データを短時間で可視化し新たな課題発見につなげていくスキル、政策立案に活用するためのスキルを習得する。
- ・ これまで作成してきたワークシートを組み合わせることでダッシュボードを作成する。
- ・ BIツールを利用する前処理として、分析のためのデータの持ち方を理解する。

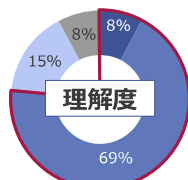
好事例・気づき

- ・ Tableauの基本的な使い方は理解できた。
- ・ 講義内容のボリュームに対して時間が短かったが、講師の説明が分かりやすく、理解できた。
- ・ 今後業務でどのように活用するか未定であるため、活用方法について検討したい。
- ・ まずはどのようなデータを使って活用していくかが重要であると認識した。Tableauはその点で有用であると感じた。
- ・ Tableauを業務で使用するには庁内のICT環境整備が必要になると思った。
- ・ 自学にてもう少しスキルや目線を習得したいと感じた。

研修参加者へのアンケート結果（回答 13人）

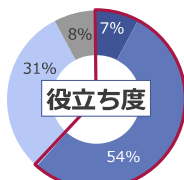
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「満足度」は概ね高い方が多い。一方、「習得度」については、あまり聞き慣れない言葉が多いせいか付いていくのが大変だった、まだ画面の見方などに慣れないため時折追いつけなかったという方もおり、38%が「もっと勉強が必要」と回答。

77%が「とても理解できた」「理解できた」と回答



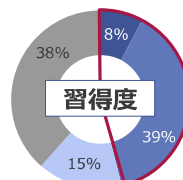
- とても理解できた
- 理解できた
- どちらでもない
- 理解できなかった

61%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



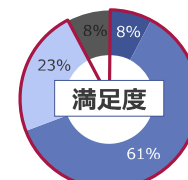
- とても役に立つ
- 役に立つ
- どちらでもない
- 役に立たない

47%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- どちらでもない
- もっと勉強が必要

92%の回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足
- 満足していない



データの集計・整理や見せ方について学ぶことができました。



一緒に操作をしながら説明をしてくださったので、理解しやすかった。

2-1. データ活用・EBPM

② BIツール活用・政策立案研修（第3回）の概要

開催日	9月5日（金）	参加者	5自治体（全7人）
実施目的	データ分析ワークショップと交流プログラムを通じて、EBPM推進に必要な実践スキルと、BIツールの政策立案への活用方法を習得することを目的とする。		

実施内容

- ① 前回学習内容の振り返り
- ② 地域ダッシュボード事例の紹介
- ③ 地域ダッシュボード作成目的整理
- ④ 使用するデータの理解
- ⑤ 地域ダッシュボード作成方法説明
- ⑥ 地域ダッシュボード作成



他の自治体の事例を確認している様子



地域ダッシュボードを作成している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ 他自治体における地域ダッシュボードの活用事例を理解し、公開されているダッシュボードに触れることで活用方法のイメージを持つ。
- ・ 地域ダッシュボード作成の目的を定め、施策につなげる仮説を立案しながら簡易なダッシュボードを作成する。

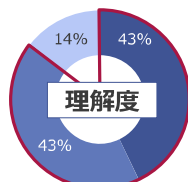
好事例・気づき

- ・ データの可視化が具体的にどんな業務に活かせるか、どの業務に適しているのか、今後業務の中でさらに深く考えていきたい。
- ・ Tableauの操作方法は、継続的に触れることで理解が深まるため、継続的に使用する業務において活用することが適していると感じた。
- ・ 業務でTableauが使えないと応用できないと思っていたが、データを扱うマインドセットはどんな仕事にも活かせるという実感が湧いてきた。

研修参加者へのアンケート結果（回答7人）

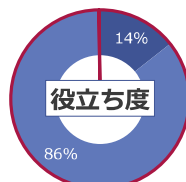
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「習得度」「満足度」の全項目で高い評価。一方で、習得度について、もっと勉強が必要と回答している参加者は、Tableauの利用機会が不足していると感じている状況。

86%が「とても理解できた」「理解できた」と回答



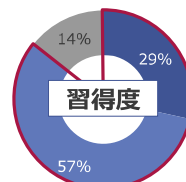
- とても理解できた
- 理解できた
- どちらでもない

全ての回答者が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



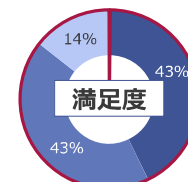
- とても役に立つ
- 役に立つ

86%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- もっと勉強が必要

全ての回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足



Tableauによるデータの可視化は、業務推進に有用であると考えられる。



従来は多くのデータを確認するには元データを探す必要があったが、ダッシュボードによる情報確認は、利便性が大きく向上すると感じた。

2-1. データ活用・EBPM

② BIツール活用・政策立案研修（第4回）の概要

開催日	9月12日（金）	参加者	5自治体（全7人）
実施目的	データ分析ワークショップと交流プログラムを通じて、EBPM推進に必要な実践スキルと、BIツールの政策立案への活用方法を習得することを目的とする。		

実施内容

- ① 前回学習内容の振り返り
- ② サンプルダッシュボード討議
- ③ 利用データブックの説明
- ④ イシューツリーの考え方説明
- ⑤ イシューツリーの作成
- ⑥ ダッシュボード活用シーン検討



サンプルダッシュボードを確認している様子



活用シーンを討議している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ 特定のテーマに基づいたサンプルのダッシュボードを確認し、読み取れる課題についてグループで話し合う。
- ・ イシューツリーを用いて政策立案に必要な考え方を理解し、実際に活用できるようにする。
- ・ データブックの内容を把握し、課題解決や改善に資するデータとその活用場面について検討する。

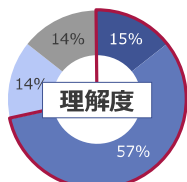
好事例・気づき

- ・ ダッシュボードの活用場面を言語化し、その先の政策を意識することができ、EBPMの一端に触れることができた実感した。
- ・ 与えられたゴールを起点として政策立案を行うことが可能であり、EBPMの活用について理解を深める貴重な機会となった。ゴール設定に関しては、今後さらに学びを重ねることで、より深い理解と実践が期待できる。
- ・ 内容の難易度が高かったことから、一日を通して時間をかけて学ぶことにより理解が深まると感じた。

研修参加者へのアンケート結果（回答7人）

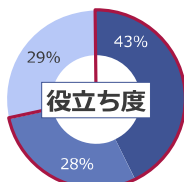
<サマリ> 「満足度」は概ね高い水準にあり、「理解度」「役立ち度」も7割を超えている。その一方で、「習得度」については、KPI設定やイシューツリーの作成といった不慣れな内容が多く、自力での活用は困難であるなどの理由から、43%が「もっと勉強が必要」と回答。

72%が「とても理解できた」「理解できた」と回答



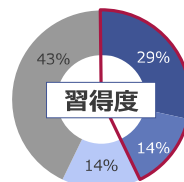
- とても理解できた
- 理解できた
- どちらでもない
- 理解できなかった

71%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



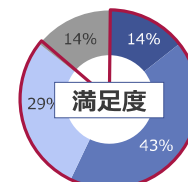
- とても役に立つ
- 役に立つ
- どちらでもない
- 役に立たない

43%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- どちらでもない
- もっと勉強が必要

86%が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足
- あまり満足していない



研修を通じて、企画に関する能力を向上させる手応えを得た。



情報の整理と結合、活用に関するマインドセットは、あらゆる業務に活用可能であると認識した。

2-1. データ利活用・EBPM

② BIツール活用・政策立案研修（第5回）の概要

開催日	10月8日（水）	参加者	4自治体（全6人）
実施目的	データ分析ワークショップと交流プログラムを通じて、EBPM推進に必要な実践スキルと、BIツールの政策立案への活用方法を習得することを目的とする。		

実施内容

- ① 前回学習内容の振り返り
- ② ダッシュボード活用シーン検討
- ③ ダッシュボード活用シーン発表
- ④ ダッシュボードの表現方法
- ⑤ ダッシュボードの構成検討
- ⑥ ダッシュボード作成



グループで活用シーンを検討している様子



ダッシュボードの構成を発表している様子

実施事項

学びのポイント

- ・各自でまとめたダッシュボード活用シーンをグループで議論し、さまざまな観点や発想を得る。
- ・意見交換をもとに、最適なダッシュボードや伝わるダッシュボードはどうあるべきかを学ぶ。
- ・グループで作成したダッシュボードの活用シーンをもとに、ダッシュボードの構成案を検討する。
- ・役割分担をし、各自ダッシュボードの作成に着手する。

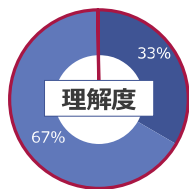
好事例・気づき

- ・効果的なダッシュボードを作れるように、実際に何度か作成を重ねながら習得に努めたい。また、作成過程で改善点を見だし、より見やすく、使いやすいダッシュボードに仕上げていきたい。
- ・効果的なダッシュボードの配置方法についてさらに理解を深め、今後の設計及び運用に活かしていきたい。
- ・ダッシュボードの構成における「Zの原則」及び「Nの原則」について学べたことは、今後の業務に幅広く活かそうである。

研修参加者へのアンケート結果（回答6人）

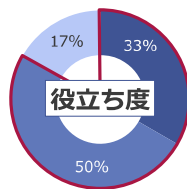
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「満足度」は高評価だった。その一方で、「習得度」については、学んだ内容を今後の実務で活かしながら定着させていく必要があると感じた人が多く、33%が「もっと勉強が必要」と回答。

全ての回答者が「とても理解できた」「理解できた」と回答



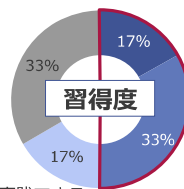
- とても理解できた
- 理解できた

83%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



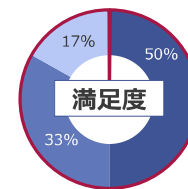
- とても役に立つ
- 役に立つ
- どちらでもない

50%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- どちらでもない
- もっと勉強が必要

全ての回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足



ダッシュボード作成における疑問点について、丁寧に教えてくれた。



ダッシュボードを作る上での考え方やルールを聞くことができた。

2-1. データ利活用・EBPM

② BIツール活用・政策立案研修（第6回）の概要

開催日	10月23日（木）	参加者	4自治体（全5人）
実施目的	データ分析ワークショップと交流プログラムを通じて、EBPM推進に必要な実践スキルと、BIツールの政策立案への活用方法を習得することを目的とする。		

実施内容

- ① 前回学習内容の振り返り
- ② 担当要素の作成
- ③ 担当要素の集約
- ④ ダッシュボードレイアウト配置
- ⑤ ダッシュボード発表
- ⑥ まとめ



担当要素を集約し
ダッシュボードを作成している様子



グループで作成したダッシュボードを
発表している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ グループでまとめたダッシュボードの構成案をもとに、メンバー内で役割を分担しダッシュボードを作成する。
- ・ グループで作成したダッシュボードを発表し、意見交換を通じて今後のBIツールの活用の可能性を検討する。

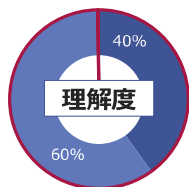
好事例・気づき

- ・ Tableauの操作とダッシュボード作成を学ぶことで、EBPMの理解を深めるとともに、実践に必要なマインドセットを身につけることができました。
- ・ DX・BIツールの有無にかかわらず、データの意味を正しく理解し、考察を加え、政策に反映させていく姿勢の重要性を認識した。
- ・ 見やすいダッシュボードのレイアウトは、パワーポイントなどの各種資料作成にも活用できると感じた。
- ・ 全6回の研修を通じて、政策立案まで見据えたデータ分析、利活用に取り組むことができました。

研修参加者へのアンケート結果（回答 5人）

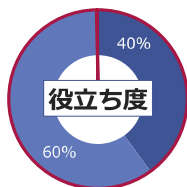
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「習熟度」「満足度」全てにおいて高評価だった。「習得度」については、限られた時間内に一人でグラフを作成することが難しいと感じられた方が「もっと勉強が必要」と回答。

全ての回答者が「とても理解できた」「理解できた」と回答



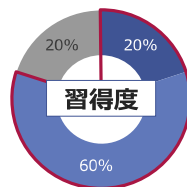
- とても理解できた
- 理解できた

全ての回答者が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



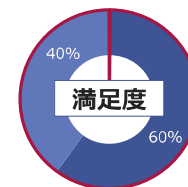
- とても役に立つ
- 役に立つ

80%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- もっと勉強が必要

全ての回答者が「大いに満足」「満足」と回答



- 大いに満足
- 満足



一人ではわからなかった操作について、サポート担当者から教えてもらったため、とても分かりやすかった。



Tableauの操作、ダッシュボード作成は講師の方々の支援があったため、進めることができました。

2-1. データ利活用・EBPM

③ 社会調査法基礎講義の概要

開催日	6月26日（木）	参加者	10自治体（全20人）
実施目的	政策を考える際の根拠となる市民ニーズを正しく把握するための一連の手順を実施できるようにすること、質問紙調査における適切な調査書の設計ができるようになることを目的とする。		

実施内容

- ① 社会調査とは
- ② 調査の準備
- ③ 調査の概要書を作る
- ④ 調査内容の検討
- ⑤ 調査書を作る
- ⑥ 調査後の作業



調査書を作るワークを行っている様子



調査後の作業について説明している様子

実施事項

学びのポイント

- ・ 実務での流れに沿って実際の調査手順を中心に理解を深め、EBPMの開始点となるEvidence（証拠）を効果的に取得するための適切な方法を習得する。
- ・ 実務を進める上で必要なデータ分析の周辺知識を身につけ、正しい分析に基づく意思決定を行うための注意点を理解する。
- ・ 回答する人に負担をかけずに答えてもらえるよう、質問の順番や量、回答の形式を工夫し、質問紙を作成する。

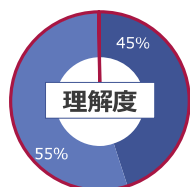
好事例・気づき

- ・ EBPMではデータの収集方法が大切であり、どうやって適切なデータを集められるか、その考え方を学ぶことができた。
- ・ 計画の改定時期にどのような質問を市民の方に聞けば有効な回答を得られるかどうかを知りたかったため、参考になった。
- ・ 講義だけでなく、参考文献リストも参考になった。

研修参加者へのアンケート結果（回答 20人）

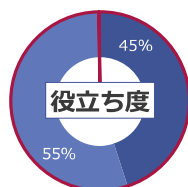
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「習得度」「満足度」すべてが非常に高かった。受講者の学習意欲も高く、「もう少し時間をかけて演習や他の人との話し合いをしたい」「Excelの実習時間については時間が足りない」などの声もあがった。

全ての回答者が「とても理解できた」「理解できた」と回答



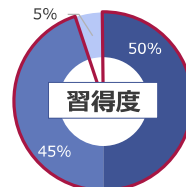
- とても理解できた
- 理解できた

全ての回答者が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



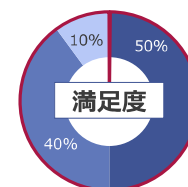
- とても役に立つ
- 役に立つ

95%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- どちらでもない

全ての回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足



全てにおいて、なぜこうしなければいけないかという根拠が示されていた。



市政モニター、世論調査を毎年行っているためとても役に立った。

2-1. データ利活用・EBPM

④ データ整備・加工業務効率化講義の概要

開催日	9月17日（水）	参加者	8自治体（全13人）
実施目的	住民基本台帳、税データ、業務ログ、統計・調査データ、地理情報など、自治体が扱うデータを理解し、Excelを使った効率的なデータ整備・加工が実践できるようにすることを目的とする。		

実施内容

- ① EBPMの進め方振り返り
- ② 自治体が扱うデータの分類
- ③ データ整備・加工方法と注意事項
- ④ Excelを使ったデータ整備・加工
- ⑤ BIツールや生成AIの活用
- ⑥ ETLツールのご紹介



データ活用の流れを聞いている様子 扱うファイル形式の特徴を説明している様子

実施事項

学びのポイント

- ・自治体で取り扱うデータの種類や形式、変換の要否について理解を深める。
- ・EBPMを迅速に推進できるよう、自治体に取り扱うデータをExcelで変換し、分析に活用可能な形式へ整備する技能を習得する。
- ・作業を一層迅速かつ正確に実施するため、Excelの操作方法を習得する。

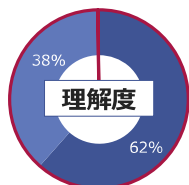
好事例・気づき

- ・データを整備する段階では相当の人的作業を要することが判明した。効率的に作業を進める方法を見出すことが重要であり、そのためには、適切なツールなどに関する助言を得ることで、より深い理解につながると感じた。
- ・どのような観点でデータを準備し、分析へと結びつけていくべきかを理解することができた。
- ・EBPMの学習を進めるなかで、活用するデータの加工が最も重要であると認識するようになり、このようなデータ加工に関する研修の機会がさらに充実することが望ましいと感じた。

研修参加者へのアンケート結果（回答 13人）

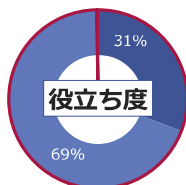
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「満足度」は概ね高い水準にある。その一方で、「習得度」については、研修だけでは十分に身につけなかったなどの理由から、23%が「もっと勉強が必要」と回答。

全ての回答者が「とても理解できた」「理解できた」と回答



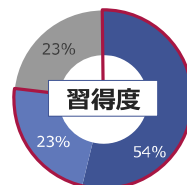
- とても理解できた
- 理解できた

全ての回答者が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



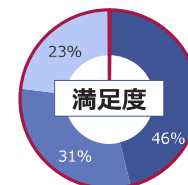
- とても役に立つ
- 役に立つ

77%が「実践できる」「サポートがあれば実践できる」と回答



- 実践できる
- サポートがあれば実践できる
- もっと勉強が必要

全ての回答者が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足



EBPMの基礎を学び直すことができた。



データ分析におけるクレンジングの重要性、必要性を理解することができた。

2-1. データ利活用・EBPM

⑤ モデル自治体の実際のデータを活用したEBPMワークショップの概要

開催日	10月30日(木)	参加者	4自治体(全5人)
実施目的	公開されている人口・土地・産業・都市基盤・保健・教育などのオープンデータを組み合わせ、ダッシュボードを作成することにより、データに基づく政策立案の流れを体験することを目的とする。		

実施内容
① テーマの説明
② 使用するオープンデータの説明
③ 課題抽出・目的設定
④ ダッシュボード作成・政策案検討
⑤ ダッシュボード発表
⑥ まとめ



課題を抽出し分析目的を検討している様子



作成したダッシュボードを使い政策案を発表している様子

実施事項

学びのポイント

- モデル自治体のダッシュボード活用事例を参考に、オープンデータから必要なデータを選択し、地域課題の解決につながるダッシュボードを作成する。
- 意見交換を通じて今後のBIツールの活用の可能性や実務でのEBPMの必要性を考える。

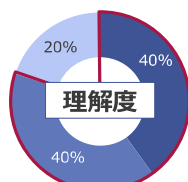
好事例・気づき

- Tableauの基本操作は初めてであったが、講師及びサポート担当者の支援により理解することができた。
- 研修時間にやや制約があったため、今後さらにBIツールを使いこなしたいと思った。
- 予算を減らすことだけに注力するのではなく、限られた資源を有効に活用する視点からデータを基に状況を分析し、向き合うことが重要だと感じた。
- BIツールを政策分析に活用できる可能性を実感した。

研修参加者へのアンケート結果(回答5人)

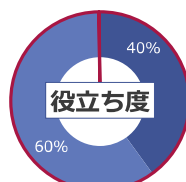
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「満足度」において高評価だった。ただし、時間的な制約により、本研修におけるTableauの実装作業は主にサポート担当者により行われたため、「習得度」については約4割が「もっと勉強が必要」と回答。

80%の回答者が「とても理解できた」「理解できた」と回答



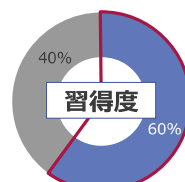
■ とても理解できた
■ 理解できた
■ どちらでもない

全ての回答者が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



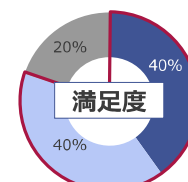
■ とても役に立つ
■ 役に立つ

60%の回答者が「サポートがあれば実践できる」と回答



■ サポートがあれば実践できる
■ もっと勉強が必要

80%の回答者が「大いに満足」「概ね満足」と回答



■ 大いに満足
■ 概ね満足
■ あまり満足していない



サポート担当者の手厚いフォローのおかげで、EBPMの考え方やBIツールの操作方法を学ぶことができた。



これまで課題に対して解決策を検討する機会は多くなかったが、BIツールを用いた分析によってEBPMを体験でき大変有意義であった。

2-1. データ利活用・EBPM

⑥ eラーニング

開催日	5月1日(木)～10月31日(金)	参加者	28自治体(全136人)
実施目的	eラーニングを活用し、自ら学習機会を確保し学びを継続することで、自走型でデジタルを活用する人材の育成を目指す。		

実施内容

マインドセット	「DXの基礎講座」など3講座
リテラシー	「データ活用のいろは」など26講座
業務変革	「はじめてのPower Automate講座」など11講座
データ活用・分析	「ビジネスにおけるデータ分析講座」など3講座
自治体	「自治体におけるEBPMの進め方講座」など7講座
ビジネス変革	「デジタルマーケティング基礎講座」など5講座
組織変革	「デジタル変革推進にむけた意思決定講座」など3講座
資格取得	「自治体におけるEBPMの進め方講座」など5講座



(一例)
自治体における
DX企画立案の進め方講座

実施事項

学びのポイント

- EBPM・データ利活用や生成AI関連以外にも、デジタル・DX関連のマインド・リテラシー・スキルに限らず、デジタル活用に関わる様々な要素を学ぶことができる。
- 各講座は10分程度で構成されており、隙間時間を有効に活用し学習ができる。
- 様々な研修やワークショップの予習として、事前にeラーニングで学ぶことで研修効果を高める。

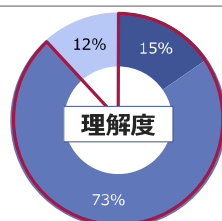
好事例・気づき

- ひとつひとつの講座がコンパクトで、空き時間に受講することができた。
- 事例を含めた講座だったため、内容が分かりやすく理解することができた。
- 1コマあたりの受講時間が短いものが多く、集中して受講できた。
- eラーニングを視聴した後、理解度を確認できるテストが用意されていると、より効果的な学びにつながると感じた。
- 多数の講座がある中で、推奨講座をまとめて表示する「オススメコース」が、分かりやすく視聴の際に大変役に立った。

研修参加者へのアンケート結果(回答26人)

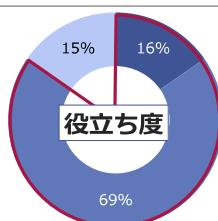
<サマリ> 「理解度」「役立ち度」「満足度」は概ね高い水準にある。各講座がコンパクトであることを評価する意見が複数寄せられた。

88%が「とても理解できた」「理解できた」と回答



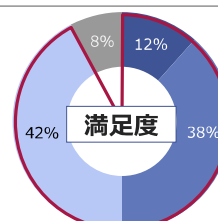
- とても理解できた
- 理解できた
- どちらでもない

85%が「とても役に立つ」「役に立つ」と回答



- とても役に立つ
- 役に立つ
- どちらでもない

92%が「大いに満足」「満足」「概ね満足」と回答



- 大いに満足
- 満足
- 概ね満足
- あまり満足していない



eラーニングの前提となる意識改革・機運醸成について課題に感じており、他自治体での成功事例や利用促進方法などを学びたい。



新しく講座を掲載したときは、お知らせがあると講座を見に行くきっかけになる。